

特別企画

- 悩んでいる人に正しい情報を!
- 組合員・地域の皆様の健康を守るため!!

専門医が本当に正しい治療を解説します!

—ひざの痛み—



JA新潟厚生連
新潟医療センター
副院長/整形外科部長
佐藤 卓

【第1回】治療法で迷っていませんか?

Q. おくすり?注射?リハビリ?手術?一体どれがいいの?



ひざの痛みについては、テレビやインターネットなどで多くの情報があふれています。医学的に正しいものもあれば正しくないものもあります。また、医学的に正しくても、その方に合っているとは限りません。ひざの痛みの原因は様々で、それぞれ治療法は異なりますし、同じ疾患であっても患者さんによって治療法は全く異なります。痛みの原因を正しく突き止めて、それぞれの方に合った治療を行う必要があります。



Q. 今受けている治療、ホントに良くなるのかな?

同じだけ軟骨がすり減っていても、とても痛い人もいれば全く痛くない人もいます。その理由は「ひざをとりまく環境」の違いにあります。ひざを支える筋力をはじめとして、様々な条件の違いで症状も大きく変わり、それらの環境を変えずに薬や注射などの治療を行ってもよくなりません。



Q. リハビリって効果あるの?



正しいリハビリはほとんどのひざの痛みに有効です。一般的に「リハビリ」と言われている治療法は数多くありますが、その中で効果が科学的に証明されているのは、筋力訓練、ストレッチ、適度な関節運動などの「理学療法」と言われる方法だけです。理学療法士の指導によりこれらを正しく行うことで、「ひざをとりまく環境」が改善し、多くの患者さんは薬などを使わなくてもひざの痛みが改善します。



Q. 「手術しかない」って言われたけど…。

手術はあくまで最終手段であり、極端に進んでしまった方以外は、まず理学療法などの外来治療をしっかりと行った上でその必要性を判断します。『手術しかない』と言われた方でも外来治療で良くなる方もいます。ただし、これらの治療を行った上で、正しい判断の下で行う手術は、患者さんの満足度が非常に高い、人生を幸せにする素晴らしい治療法です。



まとめ

それぞれの方に本当に合った治療法を決めるのは簡単ではありません。「治療しているけど良くならない」と感じたら、正しい知識と多くの治療の選択肢をもつ専門医の受診をお勧めします。

※受診をご希望の方は、新潟医療センター地域医療連携室(電話:025-232-1216)に連絡して予約をした上で受診してください。